

## 令和5年度東松山市総合教育会議 会議録

招集通知	令和5年11月17日			
招集期日	令和5年11月24日			
開会の場所	総合会館3階 301会議室			
開催の日時	令和5年11月24日 午前10時から 令和5年11月24日 午前11時30分まで			
座長	森田光一 市長			
出席委員等	教 育 長	吉 澤 勲		
	教育長職務代理	稲 垣 孝 章		
	委 員	田 中 純 一		
	委 員	利根川 澄 子		
	委 員	寺 田 浩 之		
会議出席者	政策財政部長	桶谷易司	学校教育部長	小林 強
	生涯学習部長	柳沢知孝	子ども家庭部長	神庭法子
	政策推進課長	今井秀典	教育総務課長	橋本光能
	学校教育課長	久保田慶一	教育総務課副課長	千代田章男
	教育総務課主事	若松春良		
書記	教育総務課 若松 春良			

## 日程第1 開会

市長 ただ今より、令和5年度東松山市総合教育会議を開会いたします。

市長 運営要綱第4条第1項の規定に従いまして、会議の公開についてお諮りします。本日の協議事項には非公開とする案件は含まれていないと思われませんが、公開ということによろしいでしょうか。

委員等 [はいとの声あり]

市長 それでは、本日の会議は公開とし、会議録も公表することといたします。事務局に尋ねます。本日の会議に傍聴希望者はいらっしゃいますか。

教育総務課長 1名傍聴希望者がいらっしゃいます。

市長 傍聴人の入室を許可しますので、ご案内してください。

[傍聴人入室]

市長 傍聴人は係員の指示に従って傍聴してください。

市長 続きまして、運営要綱第5条第3項の規定に従いまして、会議録の署名者を指名いたします。本日の会議録は、稲垣職務代理、田中委員のお二人に署名をお願いいたします。

## 日程第2 協議事項

市長 それでは、協議に移ります。(1)「学力の向上に関する施策について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

学校教育課長 【協議事項(1)について説明】

市長 説明は終わりました。始めに、学力・学習状況調査の結果と今後の取組について、ご意見等ございましたらお願いいたします。

田中委員 1点目は、8ページに記載の「『短答式』の問題に対して課題がある」について、対策として、例えば反復練習をすることによって問題を解くスピードが磨かれると思います。東松山市では、デジタル教材を活用した反復練習を取り入れていますか。

2点目は、10ページに、計画的に学習に取り組むとありますが

具体的にどのような取組をされているのでしょうか。P D C A サイクルを回すことを学ぶための授業を取り入れている学校もありますので、このような取組を広めてほしいと思います。

3点目は、15ページにある「基礎・基本の定着と応用力の獲得」について、どのようにして応用力を鍛えているのでしょうか。

**学校教育課長**

1点目につきまして、教育委員会では「eライブラリ」や「まなびポケット」といったデジタル教材を用意しております。また、ICT以外にも、漢字ドリルや計算ドリルなどの活用も、今までどおり進められております。

2点目の計画的な学習につきまして、子供たちが授業の初めにどのような学習をするのかについて理解できるよう、教師がしっかりと説明できるよう伝えているところです。53ページにある「わかる授業づくり」のポイントを踏まえ、まずはゴールを設定し、ゴールに向けてどのような取組をするのかについて話し合いながら進めております。

3点目の応用力につきまして、「活用問題や補充問題を取り上げ、すべての子供たちの学力を向上。」が該当する部分となります。基礎的な問題を組み合わせ、生活の実態に応じた問題を繰り返し取り組むことによって、応用力の獲得につながると考えております。

**田中委員**

授業の初めにゴールを設定するとの話がありましたが、計画的な学習において、P D C Aにおけるチェック（分析）とアクション（練習）はどのように行っていますか。

**学校教育課長**

例えば、算数の授業では、めあてを知らせ、問題を知り、計画を立て、挑戦しながら解き、学んだことをまとめ、学んだことを定着させるために練習問題をさせています。このように、授業の内容は、ある程度パターン化するよう工夫がされております。また、授業中に子供たちが疑問に思ったことを次の時間に調べてみるなどといった、つながりを持たせることを先生方へ意識してもらえるように指導しております。

**稲垣職務代理**

1点目は、小学校にもキャリア教育の視点を取り入れながら、計画性や見通しをもって進めることも大事だと思います。キャリア教育について、現状を教えてくださいたいと思います。

2点目は、13ページに「居場所」と記載がありますが、中学校の学習指導要領へ新たに「学級経営」について示され

ました。子供たちの居場所の観点から、特に中学校において学級経営について前進するような取組があれば教えていただきたいと思います。

3点目は、15ページに「基礎・基本の定着」とありますが、基礎・基本を徹底して教えることで、初めて応用力も身に付くと思います。徹底して習得させることに取り組んでいる学校はありますか。

#### 学校教育課長

1点目のキャリア教育につきまして、例えば小学校の総合的な学習の時間等では、講師を呼んで職業に対する興味などを喚起するための取組を行っております。キャリアパスポートへ子供たちの取組を継続して記載し、小学校から中学校、高校へと引き継ぎながら、キャリアに対する意識を形成できるように進めてまいります。

2点目の居場所につきまして、例えば、自由に学習を進めていくことができる「ステップアップルーム」という取組を白山中学校や松山中学校で行っております。また、ビデオ通話等で学校とのつながりを持ち、家にいながら学習を保障する取組を進めております。

3点目の基礎・基本の定着につきまして、校長先生を中心に、詩の暗唱などを行っている学校は何校かございます。また、小学校では、漢字テストで100点が取れるまで繰り返す学校が多いと捉えております。

#### 稲垣職務代理

キャリア教育に関して、キャリアプランニング能力や課題解決能力は、普段の授業においても1時間ごとに設定して行うといった授業展開もあるので、研究を深めていくと、東松山市の子供たちの弱みに対して対応できる手立ての一つになると思います。

#### 寺田委員

スクールソーシャルワーカーについて、現在市内で2名ということですが、2名で足りているのか心配しています。インフルエンザなどにかかると対応できなくなると思います。人員に対するお考えを教えてください。

#### 学校教育課長

人数が増えれば、手厚く一人一人に対応できると思います。現在は2名配置しており、家庭訪問や相談などに対応していただいております。厳しい状況ですが対応できている現状でございます。

**教育長** 基礎・基本の徹底についてご意見を伺いましたが、徹底しなければいけない部分はあると思います。子供たちは主体的・対話的で深い学びにより自分たちで知識を習得できるよう授業に取り組んでいますが、全てがそれで対応できるわけではなく、漢字の書き取りや掛け算九九などは繰り返し行う必要があります。市内全校で更に基礎・基本を徹底していく必要があると思います。

また、14ページでは、全国と比べ差があるように感じますが、実際のところそれほど差はないと思います。また、自己効力感があっても、自己評価ですので、高い点数を付けられない場合もあるため、数字だけで判断することは難しいと思います。

**学校教育課長** 自己効力感を高めていくことは、子供たちが自分自身を表現することにおいて重要なことであると思います。

**稲垣職務代理** 自己肯定感と学力との関係で、自己肯定感が高い子供は正答率が高いことは、調査で明らかにされています。

まずは、自分自身を肯定的に見られるようにして、「やればできる」といった自己効力感を高めていくことが健全な自尊感情の基盤になりますので、今後も自己肯定感と自己効力感を高めていくことが大事であると思います。

**利根川委員** この1年間で、学習用端末の使用方法の研究で進んだことがありましたらお聞かせください。

**学校教育課長** 令和4年度は、タブレット端末のICTを活用した実践を行い、チェックシートを策定いたしました。令和5年度は、チェックシートと学習指導スタンダードを使った授業研究を行っております。これらの研究は、冊子にして各学校へ配布し、取組を広げていこうと考えております。

**市長** 基礎・基本の徹底とアクティブラーニングとは相反する関係であると思います。近年、主体的・対話的で深い学びが重要視されていますが、基礎・基本がなければ応用力を身に付けることはできないため、私も基礎・基本の徹底は重要であると考えます。

また、「弱み」は結果として数字に出ていますので、補っていく必要があると思います。

**市長** 次に、「家庭学習のすすめ」について、ご意見等ございましたらお願いいたします。

市長 都道府県のうち学力の点数が高い県では、家庭学習をきちんと行っていると聞いています。保護者が子供に付き添って勉強を見ているとのこと。家庭学習について保護者に対して、どのような働きかけを行っていますか。

学校教育課長 音読の取組を進めている小学校は多く、毎日継続して保護者に聞いてもらい、確認後に保護者から押印やサインをいただいております。学校でどのような勉強をしているのかについて、少しでも保護者に知っていただくことが第一であると思います。

市長 親が教育に取り組む姿勢はとても重要であると思います。

教育長 親が子供に関わる時間が長いほど、学力も高い傾向にあると言われています。

利根川委員 18ページの家庭学習の充実の欄に、「テレビや音楽を観たり聞いたり『ながら勉強』は禁止。」とありますが、この項目は入れる必要があるのでしょうか。

稲垣職務代理 音の研究によると、うるさい音楽・軽く流れる音楽・静かな状態の中では、軽く音楽が流れている場合が一番集中できるという結果があります。

田中委員 普段からリビングで学習する子供は、集中力があると聞いたことがあります。

市長 この項目は、内容を変えた方がよいかもしれません。

学校教育課長 検討いたします。

利根川委員 朝ご飯を食べられない困窮世帯があると聞きましたが、市長はどのようにお考えでしょうか。

市長 朝ご飯は食べてほしいです。

教育長 生活リズムの乱れから、落ち着きがなくなり集中できない場合もありますので、「早寝・早起き・朝ごはん」は大事だと思います。

稲垣職務代理 血糖値が下がると自己コントロール能力が低下することは

証明されているので、根拠を持って伝えるとよいと思います。

**教育長** 朝ご飯を食べるよう、学校だよりに掲載している学校は多いです。

**市長** 朝ご飯を食べることが大切であることを、根拠を示した上で啓発するとよいと思います。

**市長** 次の「学べる環境づくり」は、インフラ関係が多いので、私の責任で相談して行わせていただきます。

次に、「学習指導スタンダード」と「道徳科スタンダード」について、ご意見等ございましたらお願いいたします。

**田中委員** 1点目は、学習指導スタンダードは、よくまとめられており、新採用の先生が読むと勉強になると思いますが、具体的に先生方が活動された内容を事例集としてまとめられていますか。

2点目は、42ページ「子どもの誤答への対応」に記載している「共感」という言葉は素晴らしいと思いました。心理的安全性は子供たちの世界にもあるべきだと思います。子供たち同士でできる取組があれば教えていただきたいと思います。

3点目は、学習指導スタンダードへICTに関する取組事例を掲載してほしいと思います。台風などで翌日学校が休校となる場合に、ルールを決めてタブレット端末を持ち帰らせてオンラインで授業行うなど、事例を載せることについて検討していただきたいと思います。

**学校教育課長** 1点目につきまして、26ページに埼玉県学力学習状況調査で子供たちを伸ばした先生の取組事例を具体的にまとめております。

2点目につきまして、学級経営の充実による子供の居場所づくりを重点化して取り組むこととしており、稲垣職務代理による研修会の開催や、「学級経営スタンダード」を活用することで、子供同士でよりよい関係になっていけるよう取組を進めたいと考えております。

3点目につきまして、ICTに関して掲載しているのは、61ページからのチェックリストのみでございますので、家庭に向けたルール作り、例えば、子供にスマートフォンを持たせることは保護者の責任でお願いしていますので、そのような説明を提示することを考えております。

**教育長** 学力を伸ばしている先生の授業の展開例として、25ページに算

数の例を掲載しています。また、県の指導事例集では各教科について掲載されており、教員は参考にしています。

また、学習指導スタンダードについては、学校で十分に活用しきれていないことが課題であり、指導訪問などで徹底するよう取り組んでいるところです。

**市長** 学習指導スタンダードにはデジタルトランスフォーメーションの視点が全くないので、活用方法について明示する方がよいと思います。

**市長** 最後に、全体を通じてご意見等ございましたらお願いいたします。

**稲垣職務代理** 1点目は、24ページに教室の前面の写真がありますが、時間割などを前面に貼ることは発達障害の子供にとって集中できないことから基本的によくないと思うので、どの子にとっても居やすい環境にするとよいと思います。

2点目は、学級目標の正しい設定の仕方が分からない教員が多いので、教育委員会からしっかりと指導するとよいと思います。

3点目は、学習指導スタンダードの表紙にある「熱意・誠意・創意ある東松山教育」は、子供に関わる言葉に変更するとよいと思います。

4点目は、31ページの「育成を目指す資質・能力」について、「知識及び技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」「学びに向かう力・人間性等のかん養」とそれぞれ修正していただきたいと思います。

5点目は、学習指導スタンダードを活用することと併せて、不登校やいじめが起こる原因について分析することが必要だと思います。市総合教育センターを活用しながら、先生方と不登校の子供への対応をしていただければと思います。

**利根川委員** 現在、小学校への就学支援はスムーズに行われていますか。以前、学校訪問へ伺った際に、特別支援学級が以前より充実していることに驚きました。

**学校教育課長** 教育委員会としては、保護者の意見を限りなく尊重する立場を取っております。保護者から様々な状況や情報を統合し、教育委員会の意見を保護者に伝えます。そして、保護者が意見を受け止めて、最終的な選択をします。

特別支援学級が増えている要因としては、特別支援に対する理解が社会全体で広まってきているところがございます。

**教育長** 課題は、特別支援学級が増えていることで、特別支援教育について専門の教育を受けた教員が不足していることです。現在は、教員が特別支援教育について学びながら担当している状況です。

**稲垣職務代理** 子供が一人でできることに対して、介助員が手を出し過ぎていることがあります。面倒を見るだけでなく距離を置くことも必要であり、介助員を置くことがかえってマイナスとならないよう、介助員研修について改善してほしいと思います。

**教育長** いただいた意見を基に教育行政を進めてまいりたいと思います。

**市長** 貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。よろしければ、本件は以上といたします。

### 日程第3 その他

**市長** 続いて、次第3の「その他」について、事務局から何かありますか。

**教育総務課長** 事務局からはありません。

**市長** 教育長、教育委員の皆様からは何かございますか。

**稲垣職務代理** 1点目は、文部科学省のホームページに掲載されている「心のバリアフリーノート」の中に、「どの子ども安心して活躍できる学級経営の視点」が出されていますので、各学校で活用していただきたいと思います。

2点目は、教員の子供に対する言葉遣いで「～してください」など丁寧過ぎることで、子供と距離感が保てずに課題となることがあります。教員としての基本的な在り方について指導及びサポートしてほしいと思います。

### 日程第4 閉会

**市長** 以上をもちまして、令和5年度東松山市総合教育会議を閉会とさせていただきます。

上記会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和5年12月22日

教育委員 稲垣 孝章

教育委員 田中 純一